

施策 3 3 1

国際展開の推進

【主担当部局：雇用経済部】

県民の皆さんとめざす姿

本県の持つ強みやこれまでに培ってきた海外の政府・自治体等との関係を生かしつつ、産学官金が一体となって、産業や観光、文化などのさまざまな分野において戦略的かつ横断的に国際展開の推進に取り組むことにより、世界からの優れた企業、人材の呼び込みや県内企業の海外展開が進み、地域に新たな活力と価値が創造されています。

平成 31 年度末での到達目標

国際社会のグローバル化に対応するため、姉妹・友好提携先や各国の在日大使館等との連携を強化するとともに、これまで培ってきた国際的な関係を生かしながら、本県の持つ高い技術や観光資源等の魅力を海外に向けて発信することにより、海外自治体等との連携が進み、本県をはじめ、県内の市町、関係団体、企業等の経済・文化的交流が活性化しています。

| 県民指標                   |   |            |            |            |            |            |
|------------------------|---|------------|------------|------------|------------|------------|
| 目標項目                   | 27 年度   | 28 年度      |            | 29 年度      | 30 年度      | 31 年度      |
|                        | 現状値   | 目標値<br>実績値 | 目標達成<br>状況 | 目標値<br>実績値 | 目標値<br>実績値 | 目標値<br>実績値 |
| 海外の政府・自治体等との連携取組件数(累計) | —   | 30 件       |            | 60 件       |            | 120 件      |
| 目標項目の説明                | 本県が培ってきた海外の政府・自治体等との関係を生かしながら、県、県内市町、関係団体等が当該政府・自治体等と連携して取り組むセミナーや商談会の開催、展示会への出展等の件数  |            |            |            |            |            |
| 29 年度目標値の考え方           | 県、県内市町、関係団体等の国際展開を推進していくため、平成 24～26 年度の 3 年間での実績（年平均 16 件程度、累計 49 件）をふまえ、県の取組としてこれまでの実績を上回る年 20 件に、新たに県内市町や関係団体等の連携した取組として年 10 件を加えた数値、計 30 件を平成 29 年度の目標としました。 |            |            |            |            |            |

| 活動指標                 |                                |       |            |            |            |            |            |
|----------------------|--------------------------------|-------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 基本事業                 | 目標項目                           | 27 年度 | 28 年度      |            | 29 年度      | 30 年度      | 31 年度      |
|                      |                                | 現状値   | 目標値<br>実績値 | 目標達成<br>状況 | 目標値<br>実績値 | 目標値<br>実績値 | 目標値<br>実績値 |
| 33101 国際交流の推進（雇用経済部） | 県内市町、関係団体等が新たに国際展開に取り組んだ件数（累計） | —     | 3 件        |            | 6 件        |            | 12 件       |

| 基本事業                           | 目標項目   | 27年度 | 28年度       |            | 29年度       | 30年度       | 31年度       |
|--------------------------------|--|------|------------|------------|------------|------------|------------|
|                                |  | 現状値  | 目標値<br>実績値 | 目標達成<br>状況 | 目標値<br>実績値 | 目標値<br>実績値 | 目標値<br>実績値 |
| 33102 海外事業<br>展開の推進（雇<br>用経済部） | 海外事業展開に<br>取り組む企業数<br>（県が支援また<br>は関与した県内<br>中小企業等）（累<br>計） |      | 15社        |            | 30社        |            | 64社        |
|                                |  | —    |            |            |            |            |            |

## 現状と課題

- ①三重県企業国際展開推進協議会を通じて県内中小企業・小規模企業等のニーズを把握しながら、これまで本県が構築してきた海外政府機関等とのネットワークや中国及びアセアン地域を対象に設置している三重県海外ビジネスサポートデスクを活用し、県内中小企業・小規模企業等の新たな海外ビジネス展開等を支援しています。引き続き、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）、金融機関をはじめとする各支援機関やこれらの機関と連携した取組を活発化させていく必要があります。
- ②みえ国際展開推進連合協議会において、県内企業の海外展開のほか、農林水産物・食品の輸出や外国人観光客の誘客の促進等の取組を連携させながら、海外ミッション団の派遣・受入などオール三重での国際展開を進めています。引き続き、関係機関等と十分な連携を図り、オール三重での取組を推進していく必要があります。
- ③「中小企業等の海外展開支援に係る業務協力に関する覚書」（平成27年6月改定）に基づき、ジェトロとの連携をより一層強化し、ジェトロが新興国を中心に設置を進める「中小企業海外展開現地支援プラットフォーム」の有効活用をはじめ、貿易相談、セミナー開催、貿易実務、ビジネス英語講座の開催、メールマガジンの発行などを効果的に活用しています。今後は、これらの他、平成28年度から本格的に事業を開始した「新輸出大国コンソーシアム」の積極的な活用も加え、政府系機関、地域の金融機関や商工会議所などの各支援機関とも連携し、県内中小企業・小規模企業等が円滑に事業を実施できるよう努める必要があります。
- ④「みえ航空宇宙産業振興ビジョン」の具体的な実施に向けて、「三重県企業国際展開推進協議会航空宇宙部会」（平成27年6月設置）を中心に、県内中小企業・小規模企業等の取組を支援しています。具体的には、航空宇宙産業を含む産業連携に関する覚書（MOU）等を締結している米国ワシントン州及びテキサス州サンアントニオ市を中心に、航空宇宙産業におけるビジネス交流等を実施しています。引き続き、ジェトロの地域間交流支援（RIT）事業も効果的に活用し、ワシントン州及びテキサス州サンアントニオ市を中心とした航空宇宙関連企業と県内企業とのビジネス交流を促進していく必要があります。
- ⑤姉妹・友好提携先である河南省とは、平成28年11月に友好関係締結30周年を迎えたことから、民間友好団体とともに、県総合文化センター等において周年事業を開催しました。また、パラオ共和国とは、平成28年7月に友好提携20周年を迎え、知事がパラオ共和国大統領、駐日パラオ共和国大使、在パラオ日本国大使と面談するとともに、在パラオ日本国大使と県内関係者・団体等との間で周年記念事業や今後の交流について意見交換を行いました。引き続き、民間等との連携のもと、姉妹・友好提携先との間で交流を図っていく必要があります。

- ⑥大使、総領事等の来県の場合等を効果的に活用し、姉妹・友好提携先や今後結びつきを強める国の駐日大使館・領事館等とのネットワークを維持・強化しました。（例：駐日ベトナム社会主義共和国大使、パラオ共和国大統領、中華人民共和国外交部 等）これらを踏まえ、引き続き、グローバルネットワークの強化を図る必要があります。
- ⑦サミット開催による効果を一過性のものとせず、サミットのレガシー（資産）を三重の未来に生かしていくため、ポストサミットの取組を展開していく必要があります。
- ⑧24時間稼働で、アジア市場への翌日配送が可能な沖縄国際物流ハブを活用してアジアへ県産品を輸出する事業者を対象に、輸送費支援及び商談フォローアップ支援を行うことで、三重県産品のアジア市場への販路拡大と県内事業者の海外展開を支援しています。引き続き、沖縄国際物流ハブを県内事業者が活用し、円滑な海外展開等を行えるよう取組を展開していく必要があります。

## 平成 29 年度の取組方向

- ①三重県企業国際展開推進協議会において、参加企業のニーズ・課題等に対応した独自取組を深化させ、より効率的に県内中小企業・小規模企業等が海外展開できるよう支援していきます。あわせて、これまでの国際展開の取組の成果や世界情勢の変化等を踏まえ、みえ国際展開に関する基本方針のローリング（改訂・更新）を検討していきます。
- ②みえ国際展開推進連合協議会での意見を踏まえ、経済ミッション団の派遣等を通じて、引き続き、県内企業の海外展開を支援するとともに、インバウンドの強化等を含めオール三重での国際展開を推進していきます。
- ③ジェトロとの連携強化については、引き続き、貿易相談、セミナー開催、貿易実務やビジネス英語講座の開催、メールマガジンの発行などのほか、「中小企業海外展開現地支援プラットフォーム」や「新輸出大国コンソーシアム」の活用により、外資系企業誘致の促進を含め、県内中小企業・小規模企業等の海外展開等を支援していきます。
- ④ジェトロのRIT事業等を活用し、ワシントン州やテキサス州サンアントニオ市等、ネットワークを構築している米国西部地域とのビジネス交流を活発化させていくとともに、MOUを締結しているフランス・ヴァルドワーズ県をはじめ欧州地域の航空宇宙産業関連企業と県内企業とのビジネス交流の機会を創出していきます。
- ⑤姉妹・友好提携先とは、それぞれの国・地域と縁のある民間の方々や、関係市町、関係団体等と連携し、交流を図っていきます。
- ⑥大使館等とのネットワークについて、引き続き、大使館、領事館等との良好な関係を維持・強化します。
- ⑦サミットのレガシー（資産）を三重の未来に生かすための基金を設置します。
- ⑧沖縄国際物流ハブを活用し、県産品を輸出する事業者が円滑な海外展開等を実施できるよう、引き続き、国内外で商談のフォローアップ等に取り組んでいきます。

## 主な事業

- ①（新）伊勢志摩サミット基金積立金【基本事業名：33101 国際交流の推進】  
 予算額：(28) ー 千円 → (29) 102,622千円  
 事業概要：サミットのレガシー（資産）を三重の未来に生かすための事業に要する経費の財源に充てるため、基金を設置し積み立てます。

②国際ネットワーク強化推進事業【基本事業名：33101 国際交流の推進】

予算額：(28) 1, 578千円 → (29) 4, 612千円

事業概要：産業・観光における企業等の活動を支援し、海外販路の拡大や企業誘致、県内への誘客につなげるため、姉妹・友好提携先や駐日大使等とのネットワークを維持・強化し、三重県の情報発信、海外からの情報収集を行います。

③みえ国際メモリアルデイ推進事業【基本事業名：33101 国際交流の推進】

予算額：(28) ー 千円 → (29) 3, 363千円

事業概要：サミット開催による県民の貴重な経験を生かし、グローバルな人材育成等を図るため、「みえ国際メモリアルウィーク」を設け、県民・企業・団体・市町等と連携して、県民が継続的に世界に目を向ける機会とします。

④県内中小企業海外展開促進事業【基本事業名：33102 海外事業展開の推進】

予算額：(28) 20, 130千円 → (29) 9, 540千円

事業概要：県内企業の国際競争力向上を図り、成長著しいアジアをはじめ海外市場の獲得を本県産業の発展につなげるため、ジェトロ、海外ビジネスサポートデスク、各支援機関と連携し、三重県企業国際展開推進協議会で把握した海外展開ニーズを踏まえて、県内中小企業・小規模企業の海外事業展開を支援します。

⑤航空宇宙産業海外連携事業【基本事業名：33102 海外事業展開の推進】

予算額：(28) 31, 613千円 → (29) 31, 237千円

事業概要：航空宇宙産業の振興を図るため、これまで構築してきた海外とのネットワークの活用、深化、新規開拓などを進め、県内企業の新規参入や事業拡大、人材育成等を総合的に支援します。